

消防だより

令和元年6月号

～熱中症から自分を守れ!～

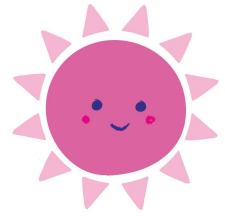
熱中症対策していますか??

地球温暖化に伴い、年々増加傾向にある熱中症。みなさんは対策等していますか??これから夏に向けて本格的に暑くなっていきます!

身近で誰にでも起こりうる熱中症は、重度になると命に関する恐ろしいものです。

熱中症は、夏の炎天下だけで起こるものではなく、身体が暑さに慣れていない梅雨明けの時期や高温多湿の室内でも発症します。

子どもや高齢者の方は、特に熱中症にかかりやすく日頃の予防が非常に大切です。



☆家族や自分自身を守るため熱中症を理解し、自分でできる対策や手当を知っておきましょう!!

熱中症とは??

暑さや熱によって体に障害が起きることを「熱中症」といいます。

「中」という字が「中る(あたる) = 毒気を身に受ける」という意味を持つことが言葉の由来となっています。重症の熱中症は緊急を要する危険な状態で日本でも毎年多くの人が命を落としています。

○症状○

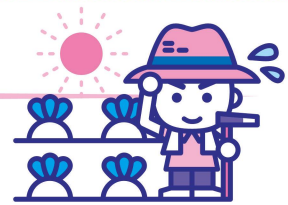
○軽度○ → 休ませましょう
めまい、失神・筋肉痛、筋肉の硬直

○中等度○ → 病院受診

頭痛・吐気・嘔吐・下痢・倦怠感・虚脱感・失神・気分の不快・判断力や集中力の低下など症状が重なり合って起こる。

○重症○ → 119(救急車を呼びましょう!)

意識障害・痙攣・手足の運動障害・おかしな言動や行動・過呼吸・高体温などが重なりあって起こる。



※火災の早期発見と『逃げ遅れ』を防ぐために住宅用火災警報器を設置しましょう。

住宅用火災警報器の交換の目安は10年です。定期的に作動の確認をしましょう。

○消防法及び久米島町火災予防条例により、すべての住宅に火災警報器の設置が義務づけられました。

※火入れを行う場合は、-必ず消防本部まで連絡するようお願いします。

※火事・救急・救助は119番へお願いします。

4月出動状況 ()は、2019年度累計

・救急	24件 (116件)	・風水害	0件 (0件)
・火災	0件 (1件)	・捜索	0件 (1件)
・救助	0件 (0件)	・その他	2件 (5件)

合計…………… 26件 (123件)



☆誰でもできる応急手当☆

*涼しい環境で休ませる

*衣服を脱がせ、身体を冷やす

→氷などで首、脇の下、太ももの付け根等の大きな血管を冷やしてあげることで体温が下がりやすくなります。

*水分、塩分補給をさせる

*楽な体位にする

*病院を受診する

体調に異変を感じた時は
早めに休息を



予防策 はP4「目指せ！健康あいらんど久米島」を参照ください。



4月19日～21日の3日間、全国ホテル研究大会(主催…全国ホテル研究会)が久米島で開催されました。19日は大会にあわせてじんじんロードでは午後3時から久米島ホテルまつりが開催されました。舞台では歌や踊りも披露され、盛大に行われ、ホテル大会の参加者や町民で賑わいました。夕方からは、ホテル大会参加者は久米島ホテル館においてホテルの観察を行い、クメジマボタル、ク



東シナ海にそそぐせせらぎで ホテルの光と潮騒の饗宴

第52回全国ホテル研究大会 in 沖縄久米島大会

ロイワボタル、スジボタルの3種類のボタルが同時に乱舞する貴重な様子と幻想的な光に歓声があがりました。

20日は、具志川改善センターにおいて、80名余りの会員と町民が参加する中、講演や研究発表が行われました。午前は、久米島ホテルンジャーによる「ホテルを守るために島の自然を楽しく保全する活動」や佐藤智映さんによる「久米島のサワガニ」についての発表がありました。アトラクションとして愛知県で活動する劇団シンデレラによる劇「ホテルが町にやってきた」が披露され、久米島ホテルンジャーも参加しました。午後には、久米島ホテル館の佐藤館長による「久米島のボタルを取り巻く環境とその現状」について発表。その他、クメジマボタルの発見者の一人であるホテル研究家の大場信義さんの講演や会員等

による様々な発表が行われ、参加者は熱心に聞き入っていました。

人を魅了させるクメジマボタルですが、生息環境の悪化により、その数は年々減少しています。クメジマボタルを守ることは、久米島の自然を守ることにつながります。みなさんもクメジマボタルのことで、自然環境について一度考えてみましょう。

